

「第3回 愛媛県労働者定期観測調査」結果概要 (2012年11月調査、定期調査編)

2013年2月28日(修正版)

はじめに

一般社団法人愛媛県労働者福祉協議会では、愛媛県内労働者の福祉を推進するための基礎資料を得ることを目的に、県内労働者を対象にした景況調査を定期的に実施しています。2012年11月に「第3回調査」を実施しましたので、ここに調査結果の概要を報告します。当調査にご協力いただいた加盟団体・事業所、ご回答していただいた方々に厚くお礼申しあげます。

今回の調査報告から、景況調査で広く使われるDI値(Diffusion Index)を算出・掲載しています。当調査も、ようやく景況判断に踏み込める段階に入ってきたわけですが、さらに調査を継続するなかで、県内労働者の景況感や暮らし向きの動向をより実態に近い形で観測できるものにしていきたいと考えております。

調査概要

- ①調査名称：愛媛県労働者定期観測調査（愛媛県労働者短観）
- ②調査対象：一般社団法人愛媛県労働者福祉協議会に登録する113団体・事業所の労働者
- ③調査項目：定期調査（労働者の景況感、仕事の現状、暮らし向き等）および特別調査
- ④調査実施期間：年2回5月、11月。（第3回調査）2012年11月1日～11月30日
- ⑤調査依頼数：（第3回調査）登録数：476、回答数：406、有効回答数：406
- ⑥調査方法：質問票によるアンケート調査（郵送調査法）

主な調査結果概要（定期調査の結果概要です。特別調査の結果は改めて報告します。）

1. 勤め先の経営状況

1年前と比べた勤め先の経営状況は、「悪くなったと思う」(43.1%)が「良くなかったと思う」(5.9%)を大きく超過した。経営状況 DI は前回調査結果より下落しており、労働者から見た景気は悪化している（問1の結果参照）。

2. 暮らし向き

1年前と比べた暮らし向きは、「悪くなった」(24.7%)が、「良くなかった」(5.2%)を上回った。暮らし向き DI も前回調査結果より僅かに下落した（問10）。

3. 仕事での不安・悩み

「将来の収入」への不安(51.1%)が第1回から変わらず突出している（問6）。

4. 暮らし向きに関連した不安・悩み

「預貯金など資産の少なさ」(56.8%)、「自分や家族の健康」(39.3%)、「自分自身または配偶者の老後」(25.7%)の3つが、第1回調査から変わらず上位にきている（問12）。

5. 総括

全体として、勤め先の経営状況と暮らし向きは悪化し、また、将来への不安を抱え、県内労働者の状況は厳しさを増している。そうした中にあって、県内労働者が、仕事の満足感と生活の満足感を維持し続けている姿も今回の調査で捉えられた（問5、11）。

第3回 愛媛県勤労者短観調査 回答者属性

アンケート回収数	406
----------	-----

性別	人	%
男性	289	71.2
女性	117	28.8

年齢構成	人	%
20歳代	69	17.0
30歳代	114	28.1
40歳代	124	30.5
50歳代	88	21.7
60歳以上	11	2.7

家族構成	人	%
1・あなた(①)	54	13.3
2・あなた/親(①④)	55	13.5
3・あなた/親/その他(兄弟)(①④⑤)	9	2.2
4・あなた/子ども(①③)	11	2.7
5・あなた/子ども/親(①③④)	6	1.5
6・夫婦(①②)	51	12.6
7・夫婦/子ども(①②③)	175	43.1
8・夫婦/親(①②④)	7	1.7
9・夫婦/子ども/親(①②③④)	31	7.6
10・その他(それ以外の組み合わせ)	7	1.7

居住地	人	%
東予	175	43.1
中予	176	43.3
南予	52	12.8
その他	3	0.7

勤務地	人	%
東予	179	44.1
中予	175	43.1
南予	52	12.8

勤続年数	人	%
5年未満	66	16.3
5年以上15年未満	132	32.5
15年以上25年未満	117	28.8
25年以上	91	22.4

従業員数	人	%
9人以下	34	8.4
10~49人	44	10.8
50~99人	19	4.7
100~499人	131	32.3
500~999人	66	16.3
1000人以上	112	27.6

業種	人	%
民間製造業	165	40.6
民間非製造業	159	39.2
公務員	43	10.6
その他(医療、福祉団体等)	39	9.6

就業形態	人	%
正規	360	88.7
非正規	46	11.3

労働時間	人	%
20時間未満	14	3.4
20~30時間未満	14	3.4
30~40時間未満	71	17.5
40時間	68	16.7
41~50時間未満	164	40.4
50~60時間未満	47	11.6
60時間以上	27	6.7
NA	1	0.2

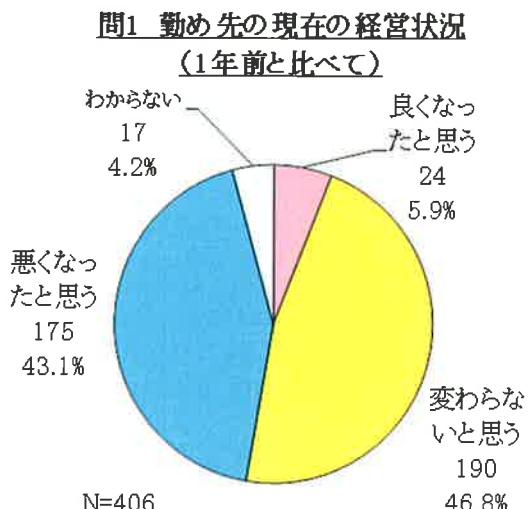
年収	人	%
200万円未満	25	6.2
200万円~400万円未満	132	32.5
400~600万円未満	159	39.2
600~800万円未満	70	17.2
800万円以上	11	2.7
NA	9	2.2

勤続年数		
平均(年)	16.0	
中央値	15	
最頻値	20	

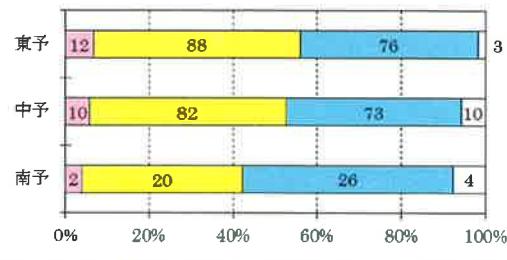
調査結果概要

1. 勤め先の経営状況

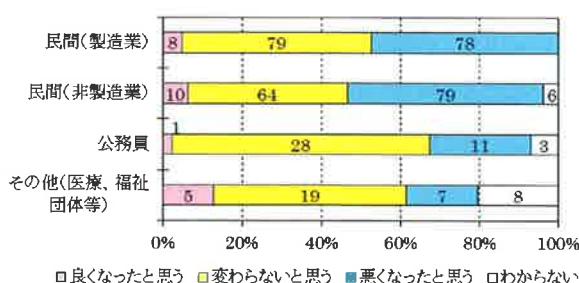
1年前と比べて、勤め先の経営状況が「悪くなったと思う」(43.1%)が「良くなつたと思う」(5.9%)を大きく超過した。経営状況DIは下落しており、勤労者から見た景気は悪化した。



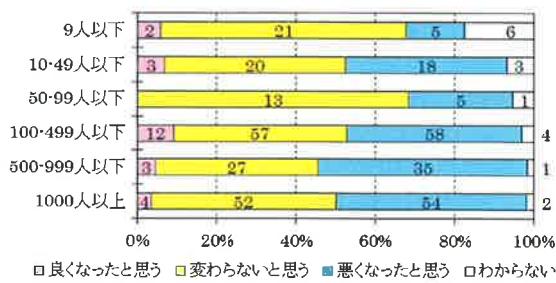
勤務地別にみた勤め先の経営状況(1年前と比べて)



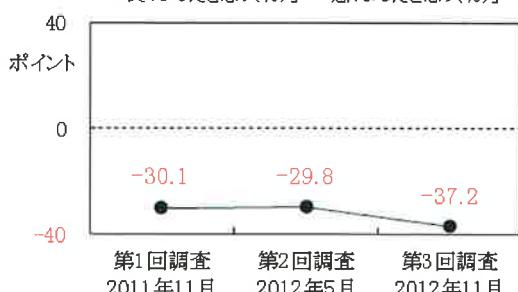
業種別にみた勤め先の経営状況(1年前と比べて)



従業員数別にみた勤め先の経営状況(1年前と比べて)

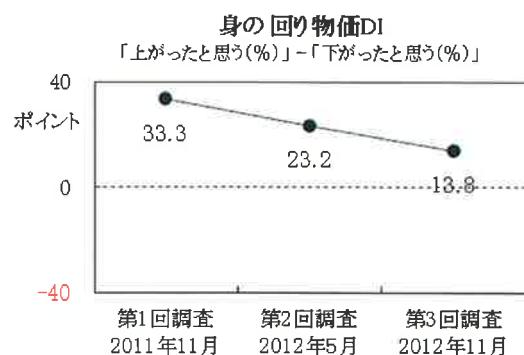


経営状況DI
「良くなつたと思う(%)」-「悪くなつたと思う(%)」



2. 物価（あなたの日常生活に関連した商品やサービスの価格）

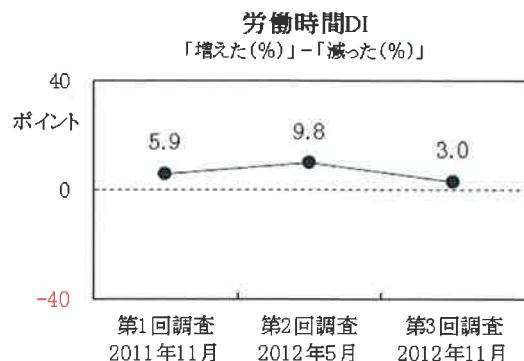
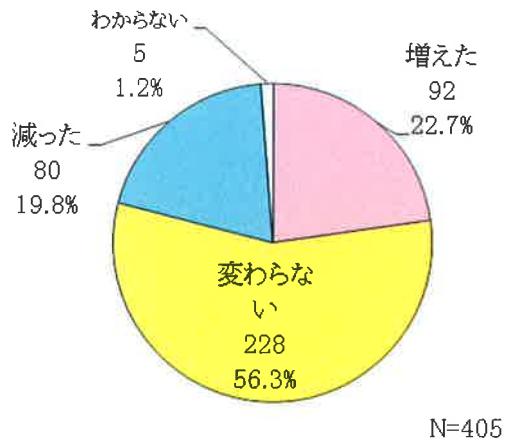
1年前と比べて「上がったと思う」が23.7%あるものの、全体として、身の回り物価DIは下落しており、勤労者が見た物価は下落傾向にある。



3. 実労働時間

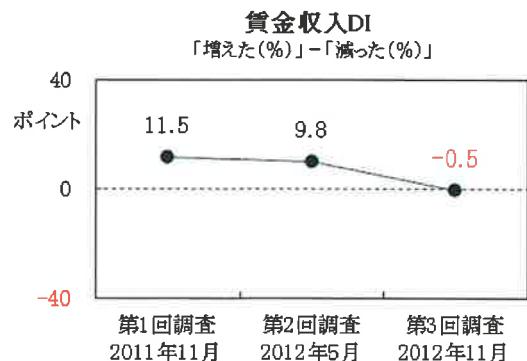
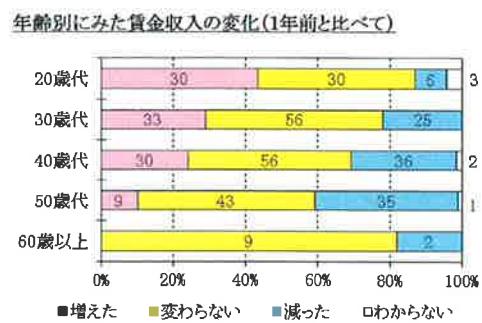
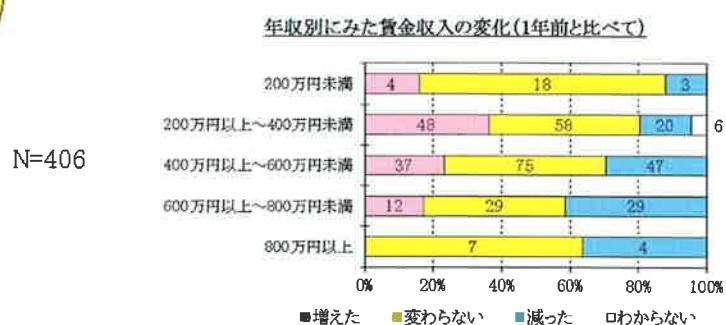
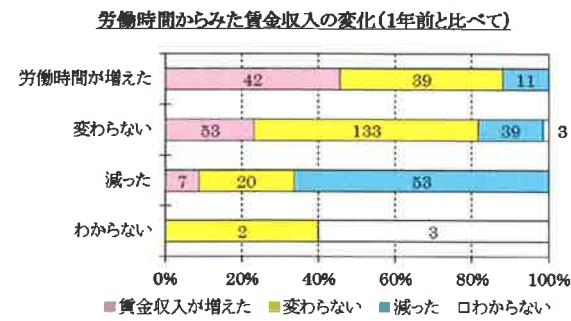
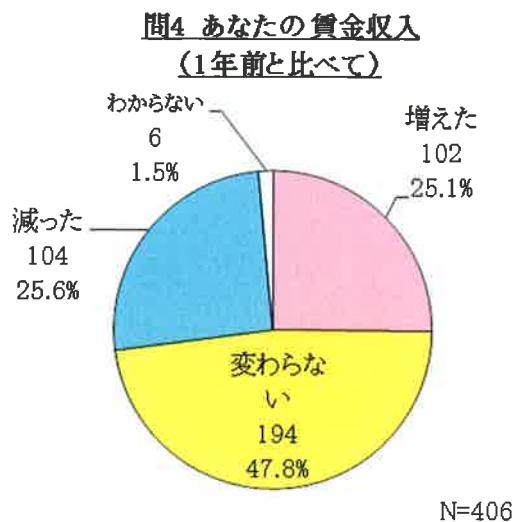
1年前と比べた最近の実労働時間については、「変わらない」(56.3%)が最多で、「増えた」と「減った」の割合に大きな差はない。労働時間DIは低下した。

問3 最近の実労働時間(残業・休日出勤を含む)(1年前と比べて)



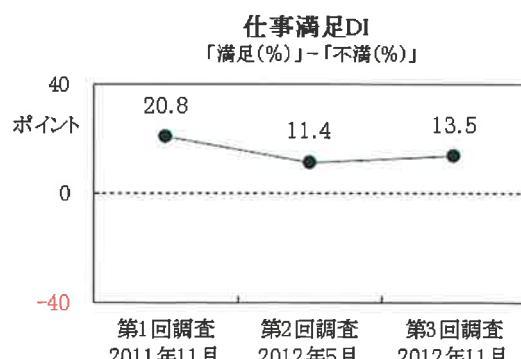
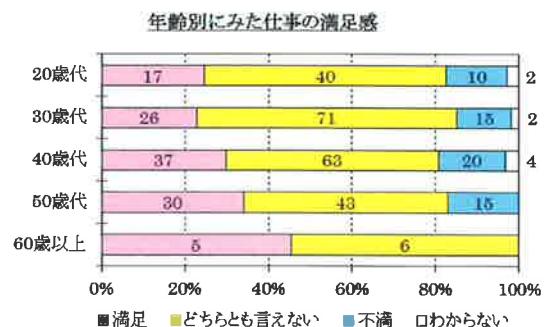
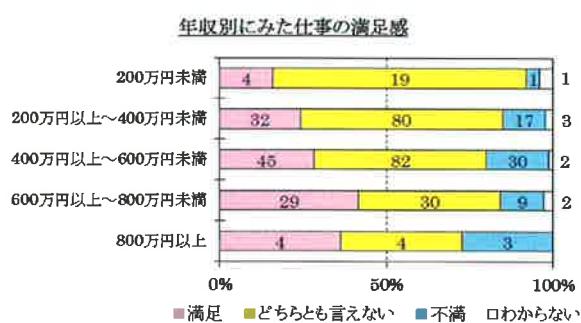
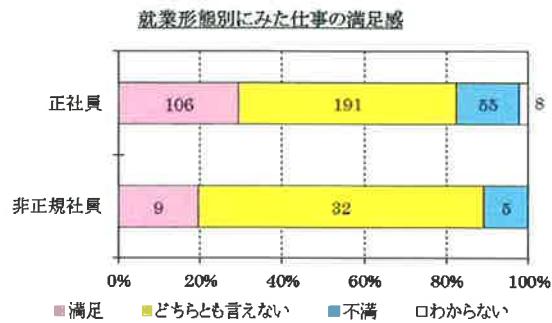
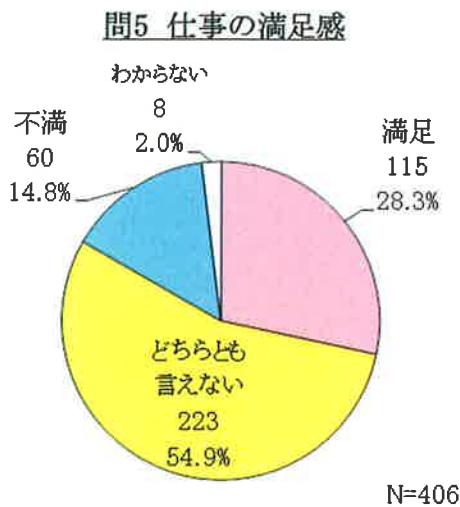
4. 賃金収入

1年前と比べて、賃金収入が「増えた」(25.1%)と「減った」(25.6%)の割合がほぼ同じになった。労働時間と賃金収入の相関を確認できる。年収が多い層ほど、また年齢が高い層ほど「減った」の割合が多い。賃金収入DIは下落した。



5. 勤め先の仕事の満足感

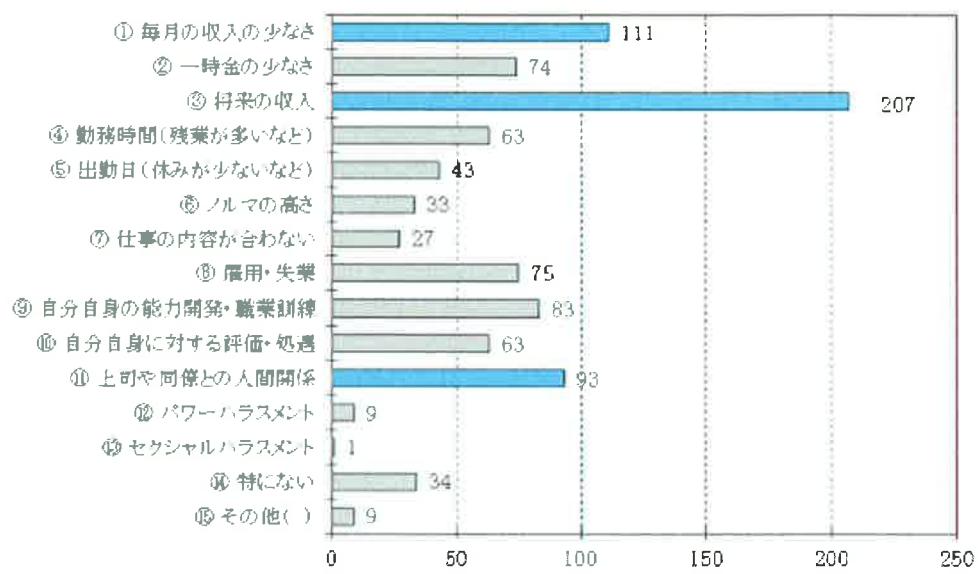
「満足」(28.3%)が、「不満」(14.8%)を上回った。年収別にみると、年収が多い層ほど、また、年齢が高い層ほど、「満足」の割合が高い傾向がある。仕事満足DIはほぼ横ばいである。



6. 仕事での不安・悩み

今回も、③「将来の収入」への不安（51.1%）が突出した。①「毎月の収入の少なさ」、③「将来の収入」、⑪「上司や同僚との人間関係」の3つが、第1回調査から常に最上位にきている。

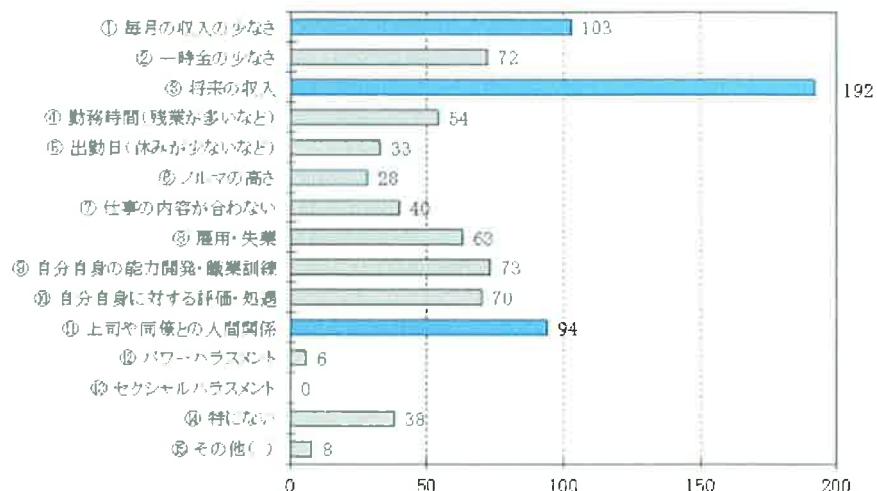
**問6 仕事に関するこの半年間に特に不安に思ったこと・悩んだこと
(3つまで選択可)**



N=405

前回第2回調査

**問6 仕事に関するこの半年間に特に不安に思ったこと・悩んだこと
(3つまで選択可)**



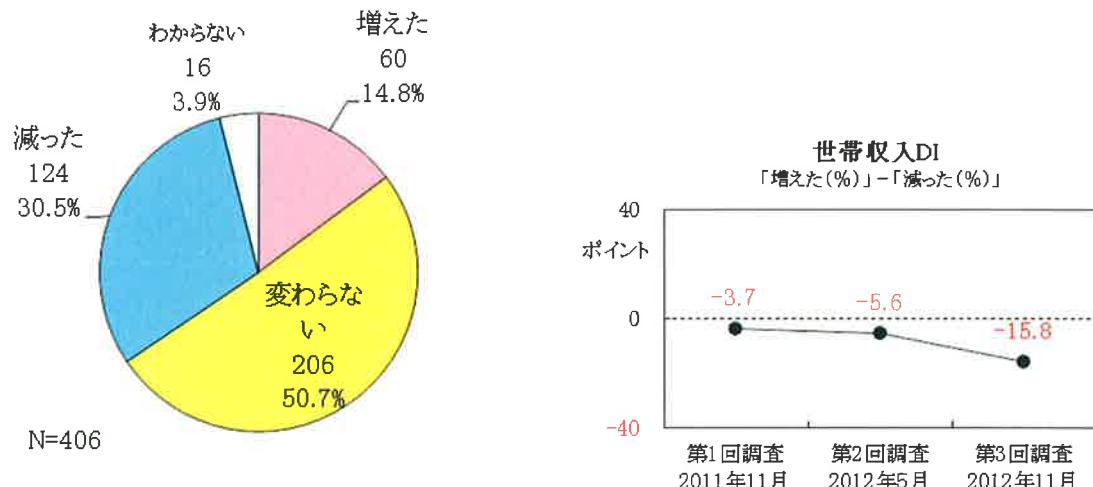
N=396

〈暮らし向きについて〉

7. 世帯全体の収入

1年前と比べて、世帯全体の収入は、「変わらない」(50.7%)が最多であるが、「増えた」(14.8%)が減り、「減った」(30.5%)が増える傾向にある。世帯収入DIも下落している。

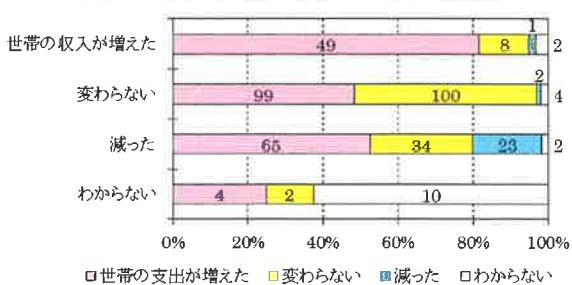
問7 世帯全体の収入(1年前と比べて)



8. 世帯全体の支出

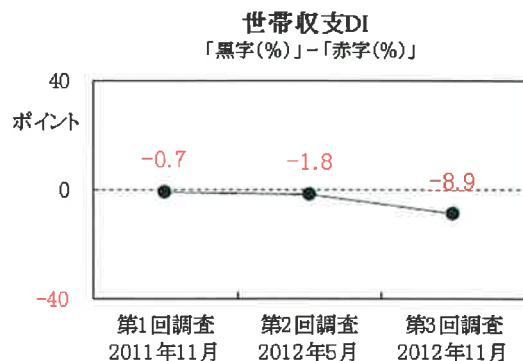
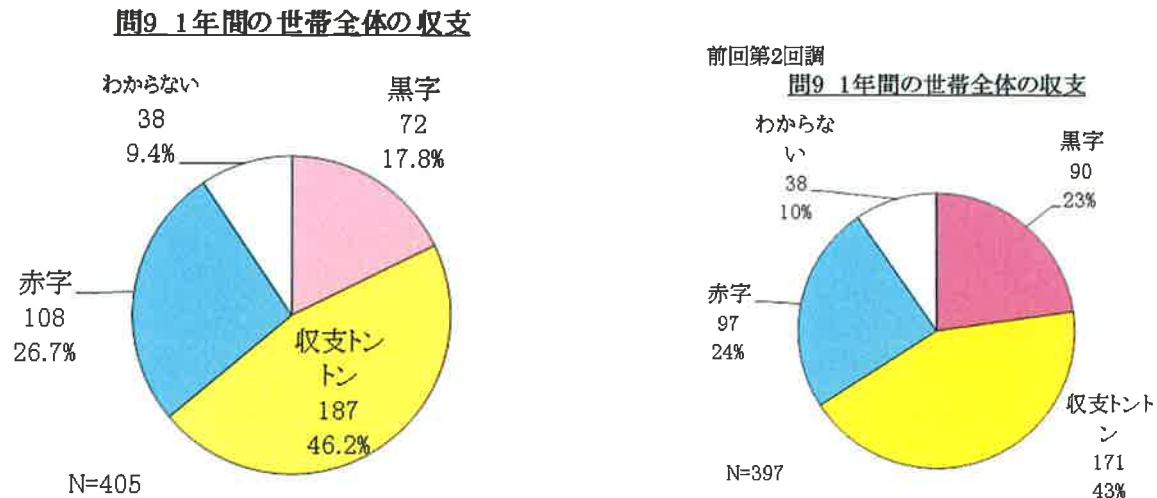
1年前と比べて、世帯全体の支出は、「増えた」(53.6%)が「減った」(6.4%)を大きく上回った。勤労者世帯は、支出が増えたと捉えている。

世帯収入の変化と世帯支出の変化(1年前と比べて)



9. 世帯の年間収支

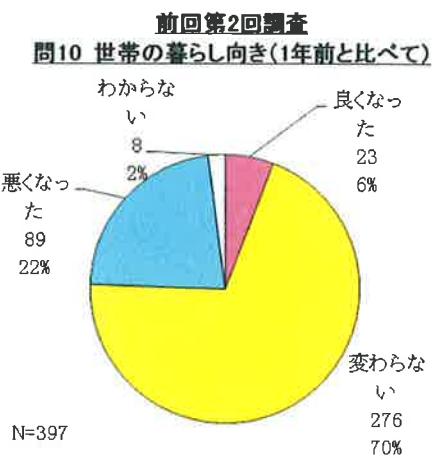
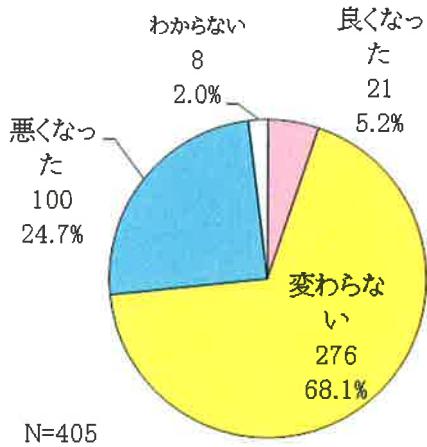
前回調査と比べ、世帯の年間収支の「黒字」（17.8%）の割合が減り、「赤字」（26.7%）の割合が増えた。世帯収支DIは下落した。



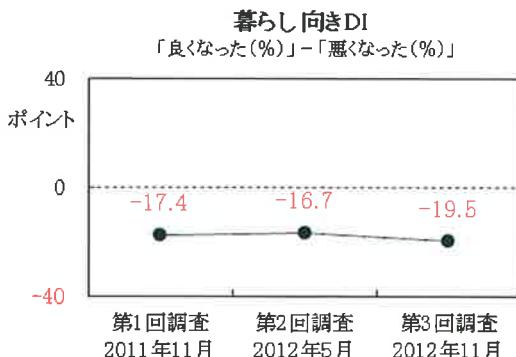
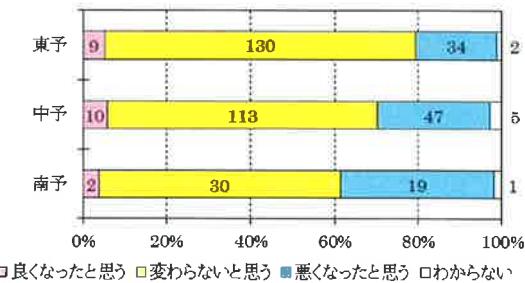
10. 世帯の暮らし向き

1年前と比べて世帯の暮らし向きが「悪くなった」(24.7%)が、「良くなつた」(5.2%)を上回った。地域的な差異が見られた。暮らし向きDIはやや下落した。

問10 世帯の暮らし向き(1年前と比べて)

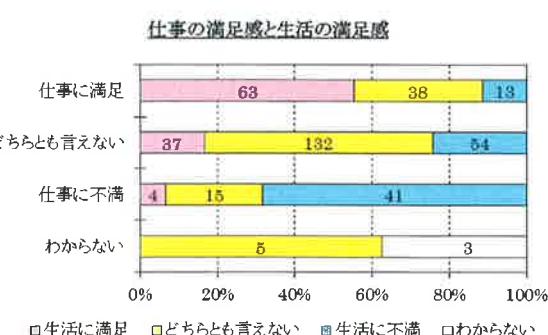
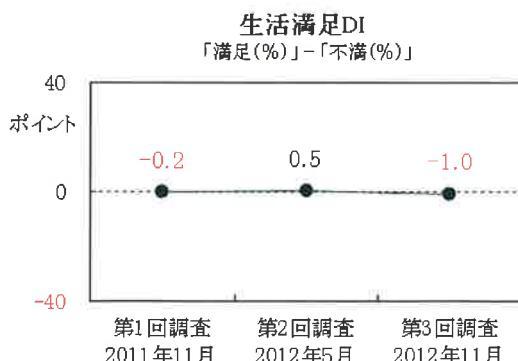
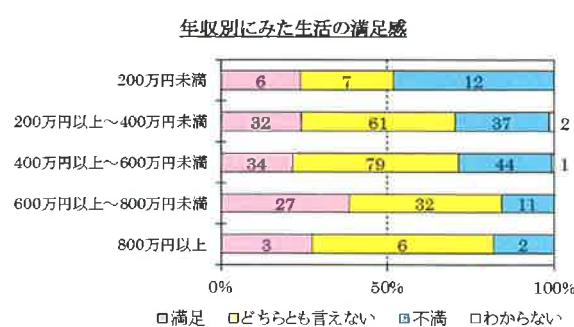
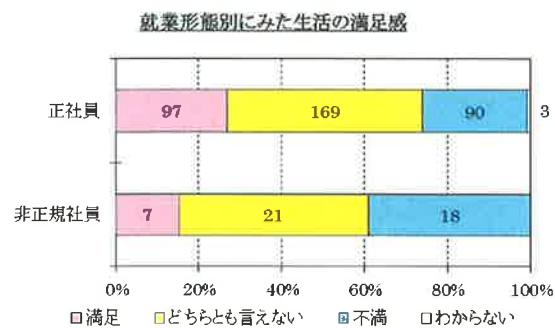
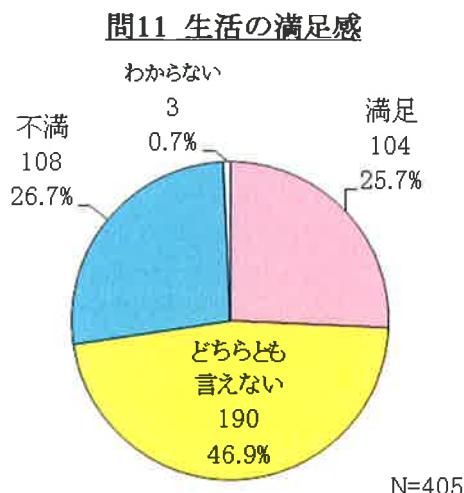


居住地別にみた世帯の暮らし向き(1年前と比べて)



11. 生活の満足感

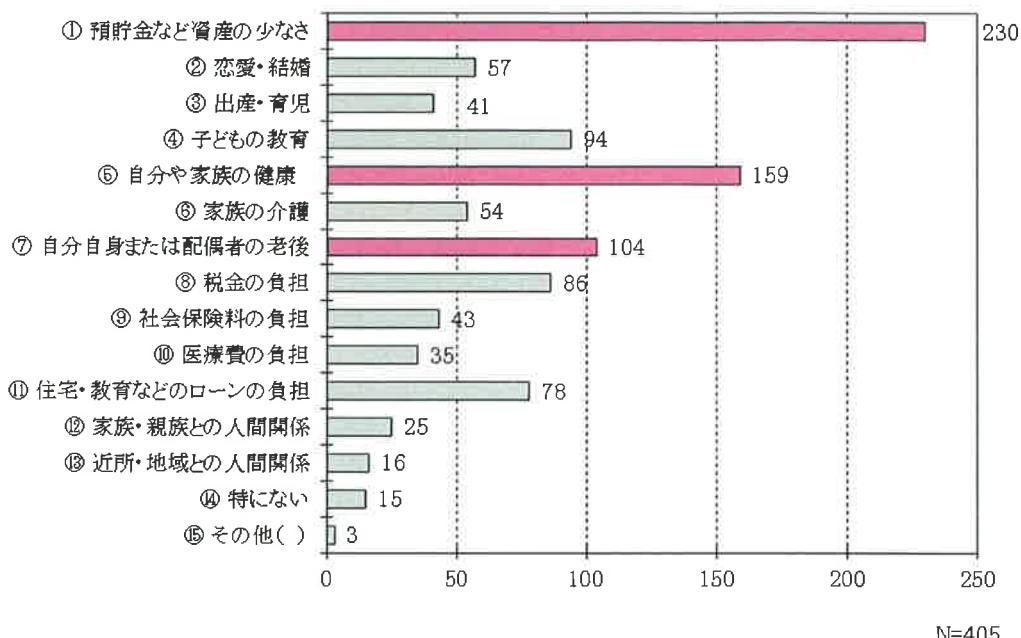
「満足」(25.7 %)と「不満」(26.7 %)はほぼ同じ割合であった。就業形態別（「正社員」、「非正規社員」）でやや違いが見られた。また、年齢が高い層ほど「不満」の割合が増え、収入が多い層ほど「不満」の割合が減っている。今回も、仕事の満足感と生活の満足感に関連性が見られた。生活満足DIはほぼ横ばいである。



12. 暮らし向きに関連した不安・悩み

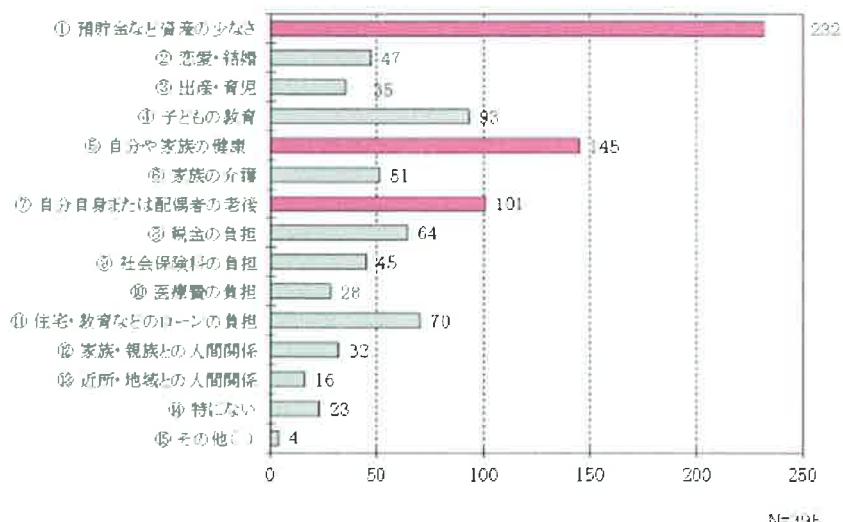
①「預貯金など資産の少なさ」(57 %), ⑤「自己や家族の健康」(39 %), ⑦「自分自身または配偶者の老後」(26 %)が第1回調査から変わらず上位になった。

問12 暮らし向きに関連して、この半年間に特に不安に思ったこと・悩んだこと
(3つまで選択可)



前回第2回調査

問12 暮らし向きに関連して、この半年間に特に不安に思ったこと・悩んだこと
(3つまで選択可)



第3回 愛媛県勤労者定期観測調査 特別調査

「これからの日本の社会像」について

第3回愛媛県勤労者定期観測調査（特別調査） 勤労者の「これから日本の将来像」に対する意識

第3回愛媛県勤労者定期観測調査の特別調査は、調査実施が2012年11月と解散総選挙直前に設定されたこともあり、税と社会保障の一体改革の内容・税負担のあり方等の「これからの日本の社会像」について、どのようなものを県内勤労者が望んでいるか（どのようなものなら納得できるか）についてテーマを設定した。設問については、下記の3つの柱で構成した。

- I. 社会保障政策について
- II. 雇用と生活問題について
- III. 失われた20年と今後の日本の社会像

以下、各設問毎の年齢別集計結果について掲載する。

（特別調査の詳細な分析報告については、4月を予定）

I. 社会保障政策について

問13 いわゆる「税と社会保障の一体改革」で、消費税増税が決まりました。改革される社会保障の中身について、あなたはどの分野に期待しますか？（2つまで選択可）

- ① 保育施設拡充や児童手当など、子育てに関する施策
- ② 能力開発などの就労促進や安定的雇用の確保など、働くことに関する施策
- ③ 医療や介護など、健康に暮らすための施策
- ④ 貧困・格差対策やセーフティネット拡充など、安心して暮らすための施策
- ⑤ 年金不安の解消に関する施策
- ⑥ その他（ ）
- ⑦ あまり期待していない
- ⑧ よくわからない

	合計	保育施設拡充や児童手当など、子育てに関する施策	就労促進や安定雇用確保など、働くことに関する施策	医療や介護など、健康に暮らすための施策	貧困・格差対策やセーフティネット拡充など、安心して暮らすための施策	年金不安の解消に関する施策	その他	あまり期待していない	よくわからない	NA
20歳代	69	25	20	27	6	27	1	13	1	0
	100.0	36.2	29.0	39.1	8.7	39.1	1.4	18.8	1.4	0.0
30歳代	114	53	13	42	15	52	2	23	0	0
	100.0	46.5	11.4	36.8	13.2	45.6	1.8	20.2	0.0	0.0
40歳代	124	22	19	65	16	85	0	15	1	0
	100.0	17.7	15.3	52.4	12.9	68.5	0.0	12.1	0.8	0.0
50歳代	88	4	14	57	17	63	2	12	0	1
	100.0	4.5	15.9	64.8	19.3	71.6	2.3	13.6	0.0	1.1
60歳以上	11	1	3	6	6	5	0	0	0	0
	100.0	9.1	27.3	54.5	54.5	45.5	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	406	105	69	197	60	232	5	63	2	1
	100.0	25.9	17.0	48.5	14.8	57.1	1.2	15.5	0.5	0.2

第3回愛媛県勤労者定期観測調査（特別調査）
勤労者の「これから日本の将来像」に対する意識

問14 今回の消費税増税からさらに、財政の再建や将来の高齢化の進展に備え、消費税の再引き上げの意見も出ています。今後の国の財源について、どのようにすべきだと思いますか。（2つまで選択可）

- ① 消費税率の一層の引き上げはやむを得ない
- ② 消費税増税に反対で、所得税や法人税など裕福な人や企業に負担させるべき
- ③ 財政の見直しをして無駄を省きそれを財源にすべき
- ④ 現状の財源のままで問題はない
- ⑤ その他（ ）
- ⑥ よくわからない

	合計	消費税増税に 消費税率の 反対で、所得 財政の見直し 一層の引き上 税や法人税な をして無駄を げはやむを得 ど裕福な人や 省きそれを財 ない 企業に負担さ 源にすべき せるべき						現状の財源 のままで問題 はない	その他	よくわからな い	NA
20歳代	69	18	27	51	0	5	0	0	0	0	0
	100.0	26.1	39.1	73.9	0.0	7.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30歳代	114	46	44	85	4	4	4	4	0	0	0
	100.0	40.4	38.6	74.6	3.5	3.5	3.5	3.5	0.0	0.0	0.0
40歳代	124	51	42	102	3	1	4	4	0	0	0
	100.0	41.1	33.9	82.3	2.4	0.8	3.2	3.2	0.0	0.0	0.0
50歳代	88	29	45	74	5	2	0	0	1	0	1
	100.0	33.0	51.1	84.1	5.7	2.3	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0
60歳以上	11	4	7	10	0	0	0	0	0	0	0
	100.0	36.4	63.6	90.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計		406	148	165	322	12	12	8	1	0	0
		100.0	36.5	40.6	79.3	3.0	3.0	2.0	0.2	0.0	0.0

問15 福祉について目指すべき社会像についてお答えください。

- ① 高負担高福祉で国家が福祉に責任を持つ北欧型社会
- ② 低負担低福祉で個人の責任を基調とするアメリカ型社会
- ③ 中負担中福祉で政府と企業、家族が負担を分かち合う社会
- ④ 現状維持
- ⑤ その他（ ）
- ⑥ よくわからない

	合計	高負担高福 祉で国家が福 祉に責任を持 つ北欧型社会						低負担低福 祉で個人の責 任を基調とす るアメリカ型 社会	中負担中福 祉で政府と企 業、家族が負 担を分かち合 う社会	現状維持	その他	よくわからな い	NA		
20歳代	69	24	7	26	5	1	6	34.8	10.1	37.7	7.2	1.4	8.7	0.0	
	100.0	34.8	10.1	37.7	7.2	1.4	8.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
30歳代	114	41	13	39	4	1	16	36.0	11.4	34.2	3.5	0.9	14.0	0.0	
	100.0	36.0	11.4	34.2	3.5	0.9	14.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
40歳代	124	34	8	57	3	1	21	27.4	6.5	46.0	2.4	0.8	16.9	0.0	
	100.0	27.4	6.5	46.0	2.4	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
50歳代	88	26	3	50	3	0	5	29.5	3.4	56.8	3.4	0.0	5.7	1.1	
	100.0	29.5	3.4	56.8	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
60歳以上	11	2	1	7	0	0	1	18.2	9.1	63.6	0.0	0.0	9.1	0.0	
	100.0	18.2	9.1	63.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
合計		406	127	32	179	15	3	49	31.3	7.9	44.1	3.7	0.7	12.1	0.2
		100.0	31.3	7.9	44.1	3.7	0.7	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

第3回愛媛県勤労者定期観測調査（特別調査）
勤労者の「これから日本の将来像」に対する意識

II. 雇用と生活問題について

問16 雇用について伺います。フリーターや派遣など正社員ではない働き方が増えていますが、これについてあなたはどう思いますか。

- ① 会社に縛られたくない生き方もあり、多様な働き方があつてもよい
- ② 企業が競争を勝ち抜くには必要なので仕方がない
- ③ 企業が正社員を削減した結果であり問題である
- ④ 仕事の内容が同じなら正社員との待遇格差はなくすべきである
- ⑤ その他（ ）
- ⑥ よくわからない

	合計	会社に縛られたくない生き方もあり、多様な働き方があつてもよい	企業が競争を勝ち抜くには必要なので仕方がない	企業が正社員を削減した結果であり問題である	仕事の内容が同じなら正社員との待遇格差はなくすべきである	その他	よくわからない	NA
20歳代	69 100.0	24 34.8	7 10.1	20 29.0	16 23.2	1 1.4	1 1.4	0 0.0
30歳代	114 100.0	22 19.3	7 6.1	53 46.5	24 21.1	3 2.6	4 3.5	1 0.9
40歳代	124 100.0	24 19.4	7 5.6	57 46.0	30 24.2	1 0.8	5 4.0	0 0.0
50歳代	88 100.0	4 4.5	3 3.4	56 63.6	23 26.1	1 1.1	1 1.1	0 0.0
60歳以上	11 100.0	0 0.0	0 0.0	4 36.4	7 63.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0
合計	406 100.0	74 18.2	24 5.9	190 46.8	100 24.6	6 1.5	11 2.7	1 0.2

問17 現在ワーク・ライフ・バランスの実現を目指して働き方の見直しが進められていますが、特に労働時間の適正化（例えば年間1800時間）のために必要だと思うものはなんですか。（2つまで選択可）

- ① 有給休暇の完全消化
- ② 休息時間（勤務から次回の勤務までの休息の時間）の制定
- ③ 残業手当の大幅引き上げ
- ④ いわゆるサービス残業の撤廃
- ⑤ 36協定（時間外・休日労働に関する労使間の協定）の見直し
- ⑥ 人員配置（必要労働者数）の見直し
- ⑦ 仕事量の適正化
- ⑧ その他（ ）

	合計	有給休暇の完全消化	休息時間の制定	残業手当の大幅引き上げ	いわゆるサービス残業の撤廃	36協定の見直し	人員配置の見直し	仕事量の適正化	その他	NA
20歳代	69 100.0	22 31.9	7 10.1	9 13.0	33 47.8	8 11.6	34 49.3	16 23.2	1 1.4	0 0.0
30歳代	114 100.0	38 33.3	12 10.5	16 14.0	52 45.6	8 7.0	56 49.1	31 27.2	3 2.6	0 0.0
40歳代	124 100.0	38 30.6	4 3.2	15 12.1	45 36.3	21 16.9	63 50.8	42 33.9	1 0.8	0 0.0
50歳代	88 100.0	34 38.6	5 5.7	9 10.2	33 37.5	11 12.5	39 44.3	34 38.6	1 1.1	1 1.1
60歳以上	11 100.0	5 45.5	0 0.0	2 18.2	3 27.3	3 27.3	6 54.5	3 27.3	0 0.0	0 0.0
合計	406 100.0	137 33.7	28 6.9	51 12.6	166 40.9	51 12.6	198 48.8	126 31.0	6 1.5	1 0.2

第3回愛媛県勤労者定期観測調査（特別調査）
勤労者の「これから日本の将来像」に対する意識

問18 あなたにとってどのような働き方が望ましいですか。

- ① 今まで以上に残業を増やしても収入を上げたい
- ② 今までより収入が下がってもなんとか仕事と家庭を両立したい
- ③ 現在の職場を退職し転職して収入を上げたい
- ④ 現在の職場を退職し新しく事業を起こして働きたい
- ⑤ 現在の職場を退職し非正規の仕事に転職してのんびりした生活をしたい
- ⑥ 配偶者に仕事をまかせ、自分は家事に専念したい
- ⑦ 現状のままよい
- ⑧ その他（ ）
- ⑨ よくわからない

	合計	今まで以上に残業を増やしても収入を上げたい	今までより収入が下がってもなんとか仕事と家庭を両立したい	現在の職場を退職し転職して収入を上げたい	現在の職場を退職し新しく事業を起こして働きたい	現在の職場を退職し非正規の仕事に転職してのんびりした生活をしたい	配偶者に仕事をまかせ、自分は家事に専念したい	現状のままよい	その他	よくわからない
20歳代	69 100.0	17 24.6	16 23.2	5 7.2	3 4.3	1 1.4	2 2.9	17 24.6	0 0.0	8 11.6
30歳代	114 100.0	25 21.9	26 22.8	7 6.1	5 4.4	1 0.9	1 0.9	33 28.9	4 3.5	12 10.5
40歳代	124 100.0	25 20.2	31 25.0	3 2.4	2 1.6	2 1.6	1 0.8	41 33.1	2 1.6	17 13.7
50歳代	88 100.0	12 13.6	32 36.4	0 0.0	4 4.5	1 1.1	2 2.3	29 33.0	2 2.3	6 6.8
60歳以上	11 100.0	0 0.0	3 27.3	1 9.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	7 63.6	0 0.0	0 0.0
合計	406 100.0	79 19.5	108 26.6	16 3.9	14 3.4	5 1.2	6 1.5	127 31.3	8 2.0	43 10.6

問19 現在、格差と貧困が問題となっていますが、あなたはどのような対応策が望ましいと思いますか。
(2つまで選択可)

- ① 最低限の生活が確保できるよう政府が責任をもつべき
- ② 職業訓練の機会や働き口を増やすなど政府が自立を支援するべき
- ③ 企業が労働条件の改善を図り、低賃金の労働や不安定な雇用をなくすべき
- ④ 家族や地域社会の助け合いで対処すべき
- ⑤ 原則として自己責任で対処すべき
- ⑥ その他（ ）
- ⑦ よくわからない

	合計	最低限の生活が確保できるよう政府が責任をもつべき	職業訓練の機会や働き口を増やすなど政府が自立を支援するべき	企業が労働条件の改善を図り、低賃金の労働や不安定な雇用をなくすべき	家族や地域社会の助け合いで対処すべき	原則として自己責任で対処すべき	その他	よくわからない
20歳代	69 100.0	16 23.2	39 56.5	25 36.2	8 11.6	19 27.5	1 1.4	3 4.3
30歳代	114 100.0	46 40.4	42 36.8	66 57.9	9 7.9	30 26.3	3 2.6	2 1.8
40歳代	124 100.0	48 38.7	58 46.8	68 54.8	7 5.6	16 12.9	0 0.0	6 4.8
50歳代	88 100.0	32 36.4	44 50.0	56 63.6	3 3.4	10 11.4	0 0.0	5 5.7
60歳以上	11 100.0	3 27.3	7 63.6	8 72.7	2 18.2	2 18.2	0 0.0	0 0.0
合計	406 100.0	145 35.7	190 46.8	223 54.9	29 7.1	77 19.0	4 1.0	16 3.9

第3回愛媛県勤労者定期観測調査（特別調査）
勤労者の「これから日本の将来像」に対する意識

III. 失われた20年と今後の日本の社会像

問20 90年代以降の経済低迷により“失われた20年”と言われている現在、日本の将来像が問われています。以下の項目のなかで、あなたが維持したい、復活させたいと思うものは何ですか。（3つまで選択可）

- ① 大都市圏と地方との均等な発展
- ② 格差と貧困の解消による分厚い中流所得層
- ③ 男女がそれぞれの役割を担う伝統的な家族
- ④ 中小零細企業、自営業者の保護・育成
- ⑤ 農林水産業の保護・育成
- ⑥ 終身雇用・年功序列などの日本型雇用システム
- ⑦ コミュニティの緊密な人間関係
- ⑧ その他（ ）
- ⑨ 特にない
- ⑩ よくわからない

	合計	大都市圏と地方との均等な発展	格差と貧困の解消による分厚い中間所得層	男女がそれぞれの役割を担う伝統的な家族	中小零細企業、自営業者の保護・育成	農林水産業の保護・育成	功序列などの日本型雇用システム	終身雇用・年功序列などの日本型雇用システム	コミュニティの緊密な人間関係	その他	特にない	よくわからない	NA
20歳代	69 100.0	33 47.8	26 37.7	11 15.9	18 26.1	22 31.9	11 15.9	29 42.0	0 0.0	5 7.2	4 5.8	0 0.0	0
30歳代	114 100.0	43 37.7	56 49.1	14 12.3	28 24.6	32 28.1	35 30.7	38 33.3	1 0.9	4 3.5	7 6.1	0 0.0	0
40歳代	124 100.0	43 34.7	56 45.2	17 13.7	32 25.8	35 28.2	37 29.8	39 31.5	1 0.8	4 3.2	7 5.6	0 0.0	0
50歳代	88 100.0	32 36.4	48 54.5	14 15.9	34 38.6	41 46.6	35 39.8	26 29.5	1 1.1	0 0.0	3 3.4	1 1.1	1
60歳以上	11 100.0	5 45.5	7 63.6	1 9.1	8 72.7	4 36.4	4 36.4	2 18.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0
合計	406 100.0	156 38.4	193 47.5	57 14.0	120 29.6	134 33.0	122 30.0	134 33.0	3 0.7	13 3.2	21 5.2	1 0.2	1

問21 日本の社会制度について、最も改善が必要だと思う点は何ですか。（2つまで選択可）

- ① 多様な生き方や個性を実現すること
- ② 男女平等を進めること
- ③ 官僚の力を弱めること
- ④ 公的な社会保障を強化すること
- ⑤ 競争原理を導入し、平等の行き過ぎを見直すこと
- ⑥ 特にない
- ⑦ よくわからない

	合計	多様な働き方や個性を実現すること	男女平等を進めること	官僚の力を弱めること	公的な社会保障を強化すること	競争原理を導入し、平等の行き過ぎを見直すこと	特にない	よくわからない	NA
20歳代	69 100.0	21 30.4	9 13.0	23 33.3	36 52.2	16 23.2	6 8.7	2 2.9	0 0.0
30歳代	114 100.0	43 37.7	17 14.9	35 30.7	62 54.4	18 15.8	3 2.6	8 7.0	1 0.9
40歳代	124 100.0	27 21.8	12 9.7	42 33.9	73 58.9	17 13.7	4 3.2	13 10.5	1 0.8
50歳代	88 100.0	25 28.4	13 14.8	34 38.6	60 68.2	8 9.1	4 4.5	6 6.8	1 1.1
60歳以上	11 100.0	3 27.3	7 63.6	3 27.3	9 81.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
合計	406 100.0	119 29.3	58 14.3	137 33.7	240 59.1	59 14.5	17 4.2	29 7.1	3 0.7

第3回愛媛県勤労者定期観測調査（特別調査）
勤労者の「これから日本の将来像」に対する意識

問22 これからの日本の将来を考えるなかで、早急に立て直す必要があると思うものについて選択してください。（3つまで選択可）

- ① 賃金（収入）減少
- ② 雇用
- ③ 国家財政
- ④ 経済
- ⑤ 年金制度
- ⑥ 医療・介護保険制度
- ⑦ 環境問題
- ⑧ 治安
- ⑨ 諸外国との関係
- ⑩ その他（ ）
- ⑪ よくわからない

	合計	賃金減少	雇用	国家財政	経済	年金制度	医療・介護保険制度	環境問題	治安	諸外国との関係	その他	よくわからな い	NA
20歳代	69	18	16	37	32	32	19	9	5	18	3	0	1
	100.0	26.1	23.2	53.6	46.4	46.4	27.5	13.0	7.2	26.1	4.3	0.0	1.4
30歳代	114	31	45	56	53	62	34	11	3	24	2	0	1
	100.0	27.2	39.5	49.1	46.5	54.4	29.8	9.6	2.6	21.1	1.8	0.0	0.9
40歳代	124	38	60	50	41	81	40	12	5	18	2	1	0
	100.0	30.6	48.4	40.3	33.1	65.3	32.3	9.7	4.0	14.5	1.6	0.8	0.0
50歳代	88	13	54	32	30	59	35	10	3	17	3	0	0
	100.0	14.8	61.4	36.4	34.1	67.0	39.8	11.4	3.4	19.3	3.4	0.0	0.0
60歳以上	11	1	8	4	6	4	3	3	0	4	0	0	0
	100.0	9.1	72.7	36.4	54.5	36.4	27.3	27.3	0.0	36.4	0.0	0.0	0.0
合計	406	101	183	179	162	238	131	45	16	81	10	1	2
	100.0	24.9	45.1	44.1	39.9	58.6	32.3	11.1	3.9	20.0	2.5	0.2	0.5

問23 目指すべき方向に進んでいくために、あなたはどのような社会勢力に期待しますか。

- ① 現政権を担っている政治勢力
- ② 以前に政権の座にあった保守を中心とする政治勢力
- ③ 最近結成された「第3の極」といわれる新しい政治勢力
- ④ 従来から存在している革新的な政治勢力
- ⑤ 労働組合などの社会運動団体
- ⑥ 草の根から生じている市民によるさまざまな運動
- ⑦ NPO・NGO等の非営利の活動組織
- ⑧ その他（ ）
- ⑨ よくわからない

	合計	現政権を担つ ていてる政治勢 力	以前に政権 の座にあつた 保守を中心と する政治勢力	最近結成され た「第3の極」 といわれる新し い政治勢力	従来から存 在している革 新的な政治勢 力	労働組合など の社会運動 団体	草の根から生 じている市民 によるさまざま な運動	NPO・NGO 等の非営利 の活動組織	その他	よくわからな い	NA
20歳代	69	10	10	19	1	16	9	9	3	19	1
	100.0	14.5	14.5	27.5	1.4	23.2	13.0	13.0	4.3	27.5	1.4
30歳代	114	23	13	29	4	38	15	6	6	30	2
	100.0	20.2	11.4	25.4	3.5	33.3	13.2	5.3	5.3	26.3	1.8
40歳代	124	23	16	33	7	29	23	6	2	41	1
	100.0	18.5	12.9	26.6	5.6	23.4	18.5	4.8	1.6	33.1	0.8
50歳代	88	18	7	22	12	32	18	12	4	17	1
	100.0	20.5	8.0	25.0	13.6	36.4	20.5	13.6	4.5	19.3	1.1
60歳以上	11	1	3	3	2	3	3	2	0	1	0
	100.0	9.1	27.3	27.3	18.2	27.3	27.3	18.2	0.0	9.1	0.0
合計	406	75	49	106	26	118	68	35	15	108	5
	100.0	18.5	12.1	26.1	6.4	29.1	16.7	8.6	3.7	26.6	1.2

勤め先経営悪化43%

県勤労者短観「仕事満足」28%

県労働者福祉協議会（木原忠義理事長）は28日、働く人の景況感や暮らし向きを調査した「第3回県勤労者短観」を発表した。勤め先の経営状況や暮らしの仕事や生活の満足感は維持している様子がうかがえる。

短観は5月と11月の年2回実施。今回は昨年11月、協議会に登録する113団体・事業所の勤労者406人から回答を得た。

1年前と比べ、勤め先の経営状況が「悪くなつた」と答えた人は43%で、「良くなつた」の6%を大きく上回った。

足感では「満足」(26%)が「不満」(27%)とほぼ同じ。仕事満足合差)はマイナス37.2で前回調査から7.4点下落した。

世帯の暮らし向きも「悪くなつた」(24%)が「良くなつた」(5%)を超過。暮らし向きDIはマイナス19.5で前回からやや下がった。

一方、仕事の満足感は「満足」(28%)が「不満」(16%)を上回ったほか、生活の満足感では「満足」(26%)が「不満」(27%)とほぼ同じ。仕事満足合差)はプラス19.5、生活満足DIはマイナス19.5で、いずれもほぼ表れたとみられる。仕

事や生活の満足感を維持し続けているのは、政治の混亂で国が経済節約などで工夫して頑張っているのではない

か」と分析している。(丸岡裕美)